UBS

＊当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2018年10月10日	
信託期間	2018年10月10日から2045年9月25日	
運用方針	「UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP（コマーシャル・ペーパー）、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人資産運用業協会規則に定めるエクスポージャーがルックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）の直接利用は行いません。ただし、指定外国投資信託および指定内国投資信託においてはデリバティブ取引を行う場合があります。その場合は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 ⑤外貨建資産への直接投資は行いません。 ⑥一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人資産運用業協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。	
分配方針	毎決算時（毎年3月25日、6月25日、9月25日および12月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、計算期末の前営業日時点の基準価額水準、市況動向等を勘案して委託者が決定します。なお、基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、上記①の範囲内で分配を行います。 ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行なわないこともあります。 ③収益の分配にあてなかった利益については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

UBS中国A株ファンド (年4回決算型)

愛称：桃源郷・年4

運用報告書（全体版）（第16作成期）

第31期　決算日　2026年6月25日
第32期　決算日　2026年9月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」は、去る9月25日に第32期の決算を行いましたので、第31期～第32期（第16作成期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>
投信営業部
03-5293-3700
<受付時間>
営業日の午前９時～午後５時、土、日、祝日除く
http://www.ubs.com/japanfunds
© UBS 2026. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近５作成期の運用実績

作成期	決算期（決算日）	基準価額（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		円	円	%	%	百万円
第12作成期	23期(2024年 6月25日)	10,258	100	3.5	97.4	2,203
	24期(2024年 9月25日)	9,176	0	△10.5	94.1	1,826
第13作成期	25期(2024年12月25日)	10,726	300	20.2	98.7	1,662
	26期(2025年 3月25日)	10,251	0	△ 4.4	98.8	1,548
第14作成期	27期(2025年 6月25日)	9,919	0	△ 3.2	97.8	1,355
	28期(2025年 9月25日)	10,820	250	11.6	94.6	1,415
第15作成期	29期(2025年12月25日)	11,221	150	5.1	97.5	1,302
	30期(2026年 3月25日)	10,995	0	△ 2.0	97.5	1,210
第16作成期	31期(2026年 6月25日)	11,093	0	0.9	98.4	1,131
	32期(2026年 9月25日)	11,152	50	1.0	92.6	1,080

（注1）基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。
（注3）投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100％超の数値となる場合があります。（以下同じ）

当作成期中の基準価額等の推移

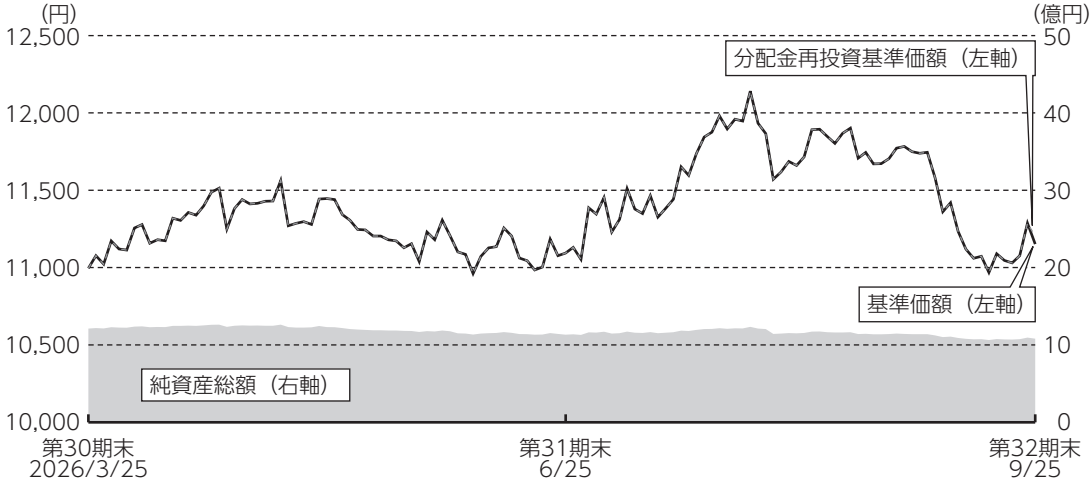
決算期	年　月　日	基準	価額	投資信託証券組入比率
			騰落率	
	(期　首) 2026年3月25日	円 10,995	% －	% 97.5
第31期	3月末	11,120	1.1	95.0
	4月末	11,563	5.2	98.0
	5月末	11,039	0.4	97.6
	(期　末) 2026年6月25日	11,093	0.9	98.4
	(期　首) 2026年6月25日	11,093	－	98.4
	6月末	11,386	2.6	98.4
第32期	7月末	11,933	7.6	99.2
	8月末	11,749	5.9	98.8
	(期　末) 2026年9月25日	11,202	1.0	92.6

(注1) 基準価額は1万口当たり。
(注2) 期末の基準価額の騰落率は分配金込み。騰落率は期首比です。
(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

（2026年3月25日～2026年9月25日）



第 31 期 首：	10,995円
第 32 期 末：	11,152円（既払分配金 50円）
騰　落　率：	1.9%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

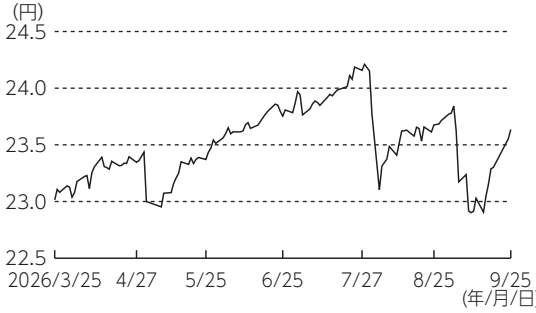
当作成期の基準価額は、中国A株市場が前作成期末からおおむね横ばい推移となる中、実質組入株式の寄与度は限定的となったものの、為替市場において対円で人民元高が進行したことがプラスに作用しました。

投資環境について

当作成期の中国A株市場は、前作成期末からおおむね横ばい推移となりました。

中東情勢の緊張緩和期待やAI・半導体関連分野の成長期待などが株価を下支えした一方、国内需要や不動産市場の低迷に加え、AI・半導体関連株への利益確定売りなどが重石となりました。こうした強弱材料が交錯する中、株価は上下に振れる展開となりましたが、最終的には前作成期末とおおむね同水準で取引を終えました。

人民元／円レートの推移



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90％以上を維持しました。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

●期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
情報技術では、米国の輸出規制と中国の半導体自給率向上策を背景に、製造装置の国産化が中長期的に進展することからの恩恵が期待される半導体製造装置大手である北方華創科技集団（ナウラ・テクノロジー・グループ）や、米アップル向け部品・組立で培った顧客基盤、量産技術、垂直統合力を生かし、AIインフラと自動車向け電子部品を新たな成長軸として収益構造の高度化を図る電子機器受託製造大手である立訊精密工業（ラックスシェア・プレシジョン・インダストリー）に追加投資したほか、中国半導体産業の国産化シフトという構造的追い風に加えて、AI向け先端ロジックやHBM、DRAMの微細化、高積層3D NANDの普及に伴う工程複雑化による恩恵も見込まれる半導体製造装置メーカーである中微半導体設備（アドバンスト・マイクロファブリケーション・イクイップメント）の新規組み入れなどにより、セクターウェイトを大幅に引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
一方、生活必需品では、夏場以降の株価回復局面をとらえ、製パン用酵母や酵母エキスを中核とする酵母・バイオテクノロジー企業である安琪酵母（エンジェル・イースト）のポジションを引き下げたほか、景気低迷や政府の倹約政策をきっかけとした接待・贈答需要の落ち込みの回復や、在庫調整に伴う価格の底入れに時間を要すると考えられることを踏まえ、中国を代表する白酒メーカーである宜賓五糧液（ウーリャンイエ・イービン）を全売却したことなどにより、生活必需品のセクターウェイトを大幅に引き下げました。またヘルスケアでは、AI関連銘柄が市場の注目を集める中、成長鈍化懸念と相対的な投資魅力度の低下から大手漢方薬メーカーである雲南白薬集団（ユンナン・バイヤオ・グループ）や、主力の痔疾治療薬と衛生ウェットティッシュなどのヘルスケア事業を第2の成長エンジンと位置付ける老舗製薬メーカーである馬応龍薬業集団（マーインロン・ファーマシューティカル・グループ）の一部売却などを通じ、同じくセクターウェイトを大きく引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当作成期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、第31期は分配を行わず、第32期は1万口当たり50円（税引前）としました。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳　（1万口当たり・税引前）

項　目	第31期 2026年3月26日～ 2026年6月25日	第32期 2026年6月26日～ 2026年9月25日
当期分配金	－円	50円
（対基準価額比率）	（　－%）	（0.446%）
当期の収益	－円	0円
当期の収益以外	－円	49円
翌期繰越分配対象額	1,092円	1,151円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドの今後の運用方針

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

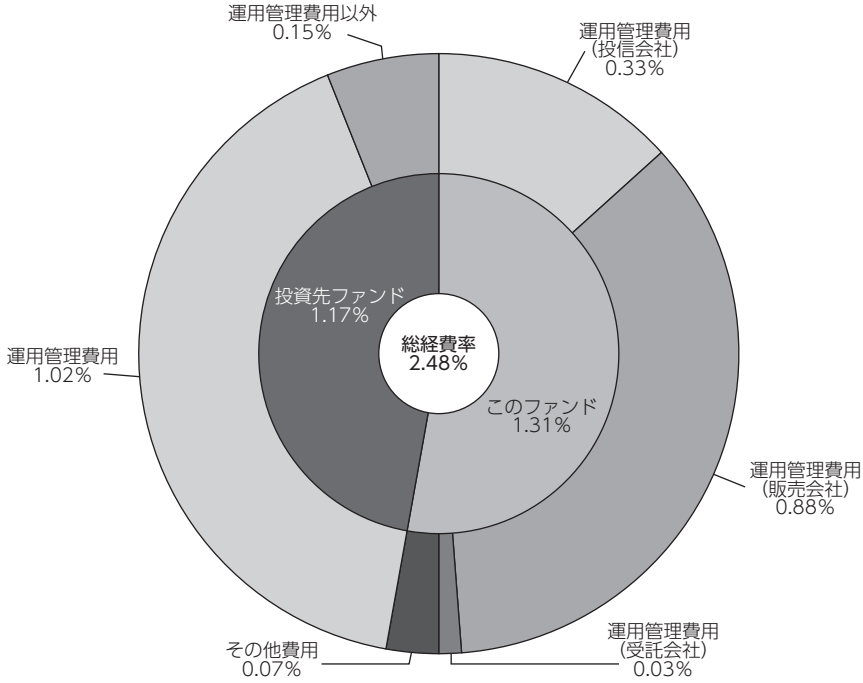
マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

1万口当たりの費用明細

項　目	第31期～第32期 2026/3/26～2026/9/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	72円	0.627%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,465円です。
（投信会社）	(19)	(0.166)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(51)	(0.444)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	4	0.037	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(4)	(0.030)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	76	0.664	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
（注4）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報）総経費率



総経費率（①＋②＋③）	2.48%
①このファンドの費用の比率	1.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.02%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注4）各比率は、年率換算した値です。
（注5）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注6）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
（注7）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.48%です。

期中の売買及び取引の状況 （自　2026年3月26日　至　2026年9月25日）

投資信託証券

		第　31　期　～　第　32　期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		口	千円	口	千円
外国	UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）	311	25,000	2,938	238,000

（注1）金額は受け渡し代金。
（注2）単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等 （自　2026年3月26日　至　2026年9月25日）

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。
（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 （2026年9月25日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第15作成期末	第16作成期末（第32期末）		
	口数	口数	評価額	比率
	口	口	千円	%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	12,016	12,016	11	0.0
UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）	15,141	12,513	1,000,706	92.6
合計	27,157	24,529	1,000,718	92.6

（注1）単位未満は切り捨て。
（注2）比率は純資産総額に対する評価額の割合。

投資信託財産の構成 （2026年9月25日現在）

項目	第16作成期末（第32期末）	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	11	0.0
投資証券	1,000,706	91.8
コール・ローン等、その他	89,043	8.2
投資信託財産総額	1,089,760	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第31期末 (2026年6月25日)	第32期末 (2026年9月25日)
(A) 資産	1,148,171,625円	1,089,760,336円
コール・ローン等	34,266,274	89,039,142
投資信託受益証券(評価額)	11,973	11,997
投資証券(評価額)	1,113,892,581	1,000,706,514
未収利息	797	2,683
(B) 負債	16,208,146	9,311,664
未払収益分配金	−	4,844,201
未払解約金	12,202,742	667,708
未払信託報酬	3,778,617	3,587,697
その他未払費用	226,787	212,058
(C) 純資産総額(A−B)	1,131,963,479	1,080,448,672
元本	1,020,458,868	968,840,238
次期繰越損益金	111,504,611	111,608,434
(D) 受益権総口数	1,020,458,868口	968,840,238口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,093円	11,152円

(注1) 当ファンドの第31期首元本額は1,101,417,591円、第31～32期中追加設定元本額は14,234,520円、第31～32期中一部解約元本額は146,811,873円です。
(注2) 1口当たり純資産額は、第31期1.1093円、第32期1.1152円です。

損益の状況

第31期 (自2026年3月26日 至2026年6月25日)
第32期 (自2026年6月26日 至2026年9月25日)

項目	第31期	第32期
(A) 配当等収益	53,261円	52,961円
受取利息	53,261	52,961
(B) 有価証券売買損益	13,721,551	14,180,308
売買益	15,693,768	17,786,235
売買損	△ 1,972,217	△ 3,605,927
(C) 信託報酬等	△ 4,005,404	△ 3,799,755
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	9,769,408	10,433,514
(E) 前期繰越損益金	△ 30,815,124	△ 19,908,807
(F) 追加信託差損益金	132,550,327	125,927,928
(配当等相当額)	(4)	(152)
(売買損益相当額)	(132,550,323)	(125,927,776)
(G) 計 (D＋E＋F)	111,504,611	116,452,635
(H) 収益分配金	0	△ 4,844,201
次期繰越損益金(G＋H)	111,504,611	111,608,434
追加信託差損益金	132,550,327	121,158,369
(配当等相当額)	(4)	(−)
(売買損益相当額)	(132,550,323)	(121,158,369)
分配準備積立金	37,640	−
繰越損益金	△ 21,083,356	△ 9,549,935

(注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 第31期計算期間末における費用控除後の配当等収益（37,640円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、および信託約款に規定する収益調整金（111,466,971円）より分配対象収益は111,504,611円（10,000口当たり1,092円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。
(注5) 第32期計算期間末における費用控除後の配当等収益（38,902円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（116,377,993円）および分配準備積立金（35,740円）より分配対象収益は116,452,635円（10,000口当たり1,201円）であり、うち4,844,201円（10,000口当たり50円）を分配金額としております。

分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金
第　31　期	0円
第　32　期	50円

◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
◇分配金を再投資する場合
お手取り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
◇分配金の区分について
・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。
◇2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

＜約款変更のお知らせ＞

2026年4月1日付で一般社団法人投資信託協会と一般社団法人日本投資顧問業協会が合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更が行われたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（約款変更実施日：2026年4月1日）

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

＜参考情報＞

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。
ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2026年２月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

包括利益計算書

	2026年２月28日に終了する会計期間 米ドル
収益	
受取利息	3,924
受取配当金	2,017,507
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	5,686,838
為替取引に係る収益（損失）	82,901
利益合計	7,791,170
費用	
運用管理報酬	484,567
保管事務費用	41,257
監査報酬	33,900
役員報酬	32,345
専門家費用	13,404
取引費用	29,362
その他営業費用	14,713
営業費用合計	649,548
税引前営業利益（損失）	7,141,622
配当金に係る源泉税	(201,907)
税引後営業利益（損失）	6,939,715
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	6,939,715

2026年２月28日現在の投資有価証券明細表（未監査）

	銘柄名	数量	簿価（米ドル）	時価（米ドル）
株式				
中国元				
	WUXI APPTEC CO LTD A SHRS ORD CNY1	119,406	1,302,539.98	1,707,044.07
	FUYAO GROUP GLASS INDUSTRIES CO LTD A SHS ORD CNY1	531,200	3,142,621.14	4,679,971.42
	NAURA TECHNOLOGY GROUP CO-A SHRS ORD CNY1	30,875	1,437,949.92	2,125,136.01
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	184,534	1,292,497.88	1,463,470.34
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	756,365	4,630,617.86	4,275,149.70
	CHINA MOBILE LTD-A ORD CNY1.000000000	233,300	3,379,962.10	3,209,376.57
	CHANGSHA ZOOMLION HEAVY INDUSTRY SCIENCE AND TECHNOLOGY DEVELOPMENT CO LTD A SHS ORD CNY1	1,160,521	1,184,086.93	1,691,089.86
	CONTEMPORARY AMPEREX TECHNOLOGY CO LTD - A SHRS ORD CNY1	54,200	2,193,290.36	2,703,872.98
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	573,036	6,535,397.58	4,684,958.19
	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	384,004	1,509,630.29	1,460,802.59
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	50,900	298,541.52	372,857.33
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	247,800	2,034,717.52	2,280,394.71
	BANK OF NINGBO CO LTD A SHS ORD CNY1	419,700	2,013,057.50	1,915,546.63
	WULIANGYE YIBIN CO LTD-A SHS	74,300	1,322,321.51	1,127,662.38
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	23,200	6,394,715.51	4,923,853.72
	HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A SHRS ORD NPV	44,600	739,021.61	387,990.14
	ANGEL YEAST CO LTD ORD CNY 1.000000000	405,549	3,080,218.19	2,602,228.87
	SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A SHRS ORD CNY1.0	33,700	1,141,885.10	913,911.63
	HBEI CHENGDE LOLO CO-A SHRS CNY1	400,500	522,090.17	490,715.75
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	350,734	3,431,402.32	4,023,180.97
	PETROCHINA CO LTD A SHS ORD CNY1	226,200	276,545.67	358,319.64
	MAYINGLONG PHARMACEUTICAL GROU ORD CNY 1	403,700	1,467,905.27	1,585,781.32
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	290,040	2,489,045.11	2,392,850.10
中国元合計			51,820,061.04	51,376,164.92
株式合計			51,820,061.04	51,376,164.92
総合計			51,820,061.04	51,376,164.92

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年4回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第17期決算日（2026年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

最近５期の運用実績

決算期	基準価額	税込み分配金	期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	円	%	%	%	百万円
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	－	－	8
14期（2023年1月20日）	9,924	0	△0.1	－	－	8
15期（2024年1月22日）	9,910	0	△0.1	－	－	8
16期（2025年1月20日）	9,909	0	△0.0	－	－	8
17期（2026年1月20日）	9,941	0	0.3	－	－	8

（注1）基準価額は1万口当たり。
（注2）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注3）債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
（期首）	円	%	%	%
2025年 1月20日	9,909	－	－	－
1月末	9,909	0.0	－	－
2月末	9,912	0.0	－	－
3月末	9,914	0.1	－	－
4月末	9,917	0.1	－	－
5月末	9,920	0.1	－	－
6月末	9,922	0.1	－	－
7月末	9,924	0.2	－	－
8月末	9,926	0.2	－	－
9月末	9,929	0.2	－	－
10月末	9,932	0.2	－	－
11月末	9,934	0.3	－	－
12月末	9,938	0.3	－	－
（期末）				
2026年 1月20日	9,941	0.3	－	－

（注1）基準価額は1万口当たり。
（注2）騰落率は期首比です。
（注3）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
（注4）債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳　（1万口当たり・税引前）

項　目	第17期 2025年1月21日～2026年1月20日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	（　－%）
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	107円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

1万口当たりの費用明細

項　目	当期 2025/1/21～2026/1/20		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,923円です。
（投信会社）	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合　計	4	0.046	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況　（自　2025年1月21日　至　2026年1月20日）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	－	－	2	2

（注）単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等　（自　2025年1月21日　至　2026年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。
（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高　（2026年1月20日現在）

項　目	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	8,782	8,780	8,792

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

（2026年1月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	8,792	99.9
コール・ローン等、その他	9	0.1
投資信託財産総額	8,801	100.0

（注）金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年1月20日現在）

項目	当期末
(A) 資産	8,801,735円
コール・ローン等	8,778
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,792,957
(B) 負債	1,927
未払信託報酬	1,855
その他未払費用	72
(C) 純資産総額(A－B)	8,799,808
元本	8,852,395
次期繰越損益金	△ 52,587
(D) 受益権総口数	8,852,395口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,941円

〈注記事項〉

期首元本額	8,852,395円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	0.9941円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は52,587円です。

損益の状況

（自2025年1月21日　至2026年1月20日）

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	31,612円
売買益	31,612
(B) 信託報酬等	△ 3,860
(C) 当期損益金(A＋B)	27,752
(D) 前期繰越損益金	△ 81,644
(E) 追加信託差損益金	1,305
(配当等相当額)	(5,813)
(売買損益相当額)	(△ 4,508)
(F) 計 (C＋D＋E)	△ 52,587
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△ 52,587
追加信託差損益金	1,305
(配当等相当額)	(5,813)
(売買損益相当額)	(△ 4,508)
分配準備積立金	88,951
繰越損益金	△142,843

（注1）損益の状況の中で**(A)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で**(B)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（28,196円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（5,813円）および分配準備積立金（60,755円）より分配対象収益は94,764円（10,000口当たり107円）ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。
ご参考として、第17期決算日（2026年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・マザーファンド

最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	%	%	%	百万円
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	－	－	8
14期（2023年1月20日）	9,984	△0.1	－	－	8
15期（2024年1月22日）	9,974	△0.1	－	－	8
16期（2025年1月20日）	9,978	0.0	－	－	8
17期（2026年1月20日）	10,014	0.4	－	－	8

（注1）基準価額は1万口当たり。
（注2）債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率	債券先物比率
	円	%	%	%
(期首) 2025年 1月20日	9,978	－	－	－
1月末	9,978	0.0	－	－
2月末	9,981	0.0	－	－
3月末	9,984	0.1	－	－
4月末	9,987	0.1	－	－
5月末	9,990	0.1	－	－
6月末	9,993	0.2	－	－
7月末	9,995	0.2	－	－
8月末	9,998	0.2	－	－
9月末	10,001	0.2	－	－
10月末	10,004	0.3	－	－
11月末	10,007	0.3	－	－
12月末	10,011	0.3	－	－
(期末) 2026年 1月20日	10,014	0.4	－	－

（注1）基準価額は1万口当たり。
（注2）騰落率は期首比です。
（注3）債券先物比率は買建比率－売建比率。

1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

期中の売買及び取引の状況 （自　2025年1月21日　至　2026年1月20日）

該当事項はありません。

主要な売買銘柄 （自　2025年1月21日　至　2026年1月20日）

該当事項はありません。

利害関係人等との取引状況等 （自　2025年1月21日　至　2026年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 （2026年1月20日現在）

2026年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

投資信託財産の構成

（2026年1月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	8,793	100.0
投資信託財産総額	8,793	100.0

（注）金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年1月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	8,793,023円
コール・ローン等	8,792,879
未収利息	144
(B) 純資産総額(A)	8,793,023
元本	8,780,665
次期繰越損益金	12,358
(C) 受益権総口数	8,780,665口
1万口当たり基準価額(B／C)	10,014円

〈注記事項〉

期首元本額	8,782,667円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	2,002円
1口当たり純資産額	1.0014円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	8,780,665円

損益の状況

(自2025年1月21日　至2026年1月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	32,056円
受取利息	32,056
(B) 当期損益金(A)	32,056
(C) 前期繰越損益金	△19,700
(D) 解約差損益金	2
(E) 計 (B＋C＋D)	12,358
次期繰越損益金(E)	12,358

（注）損益の状況の中で**(D)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。